

「第 2 次飯田市中山間地域振興計画の概要」

市民協働環境部 ふるさと定住支援課

1 第 2 次計画のポイント

- ①第 1 次と同様の総合的な計画ではなく、持続可能な地域づくりをめざし、地域との関係性から移住・定住へつなげていくことに特化した計画として位置付ける。
- ②交通・医療・子育てといった地域住民が不安に感じている課題は、各種分野別計画との連携により取り組むこととする。
- ③各地区基本構想を軸にしながらか重点的に進める各地区アクション、中山間地域が共通で抱える課題に対応する 7 地区連携アクション、遠山郷・竜東・天龍峡エリアを中心としたエリアアクションにより事業展開を図る。

2 計画期間

2019 年から 2028 年までの 10 年間とする。ただし、いいだ未来デザイン 2028 や関連する計画の改定、社会経済情勢の変化、地域づくりの進捗状況などに応じて見直す。

計画をより効率的に推進するため、計画期間の 10 年間を、前期・中期・後期に分け、必要に応じた見直しをかけながら進める。

	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
未来デザイン	基本目標			基本目標			基本目標					
中山間計画	—	前期（3年）			中期（4年）			後期（3年）				

3 計画エリア

この計画は、人口が概ね 3,000 人以下で、都市計画法による計画が予定されていない次の地域を対象とする。

・下久堅地区・上久堅地区・千代地区・龍江地区・三穂地区・上村地区・南信濃地区

また、三遠南信自動車道の供用開始も見込まれることから、中山間周辺地域との連携を含めた事業展開を図る。

4 この計画によりめざす 10 年後の姿

「住む人々が心豊かで暮らし、地域内外の人とのつながりを持てる地域」

5 目標設定の考え方

今次の計画期間においては、リニア中央新幹線や三遠南信自動車道整備に伴うアクセス道路など社会状況の変化が進み、交通・流通だけではなく、人の流れの変化も起きてくる。めざす 10 年後の姿を実現するためには、変化の大きな状況の中で、中山間地域における課題を明確にし、地域との協働により試行錯誤とチャレンジを繰り返し、活路を見出していく必要がある。

地域との協働した事業を進める上では、関わる方にとっても成果が見えやすいことが必要であることから、各期における重点的な取組に対する目標設定とする。

(1) 前期における目標設定

前期においては、関係人口の構築と移住・定住に向けた動きにつなげていくための、特に土台づくりの期間として位置付ける。このため、人口目標といった指標にせず、それぞれの地域で展開される活動が見えるものとして次の目標を設定する。

目標名	目標値	設定の考え方
事業体数	3件	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域においては、従来から千代しゃくなげの会をはじめとする新たな事業体の組織化が行われている。田舎へ還ろう戦略の推進においては、中山間地域を中心とする新たな事業体の取組が展開してきていることから目標として設定する。 ・新規での取組と合わせ既に立ち上がっている事業体の支援についても行っていく。
新たな交流プログラム数	7プログラム	新たな事業体や既存のまちづくり委員会を始めとした団体が主体となり、地域資源を活用したプログラムの構築や、テストツアーなどの実践を行う。前期はプログラム数を目標として捉え、中後期において、交流数を指標として位置付ける。

6 推進体制及び進行管理

飯田市中山間地域連絡会議や竜東部会等を中心とした体制により地域と行政が一体となり事業の進行管理を行う。また、分野別計画等との連携を密にし、関係部局の横断的な取組により、着実な事業推進を図る。

7 検討経過

(1) 中山間地域振興計画策定委員会の設置

現計画における総括や新計画に盛り込む内容の協議・検討を行う組織として、各地区より3名の策定委員を選出し策定委員会を設置。中山間地域全体で抱える共通課題の整理や計画期間（10年間）で各地域として重点的に取組む内容等を検討。

(2) 住民アンケート調査の実施

計画へ住民意見を反映するために、地域住民、保育園保護者、小中学校PTA、消防団を中心にアンケートを配布。配布数2,021枚に対し1,099人回答。（回答率54.3%）

(3) まちづくり委員会等との懇談会の開催

- ・策定委員会の協議や住民アンケートを基に骨子（案）を作成しまちづくり委員会との懇談会を実施。出された意見を基に策定委員会で協議し計画（素案）を作成。
- ・12月に地域協議会、まちづくり委員会及び地域住民を対象とした計画（素案）に対する各地区懇談会を開催。出された意見を基に計画（案）を作成。

(4) 地域協議会への意見聴取

計画（案）に対する地域協議会への意見聴取を平成31年1月から2月に実施。

(5) パブリックコメントの実施

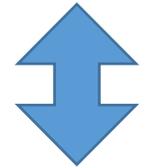
平成31年1月11日から2月12日までパブリックコメントを実施。1件の意見が提出され計画へ反映。2月25日に開催された第7回中山間地域振興計画策定委員会において計画を決定。

第2次中山間地域振興計画の位置付け

いいだ未来デザイン2028

人口減少・少子高齢化が急速に進むことにより地域活力の低下が心配される状態に歯止めをかけ、若者が一旦は地域外に出てもやがては戻ってくる人材のサイクルをつくるとともに、地域外からこの地域で一緒に暮らしたい、地域づくりをしたいという都市生活者等を積極的に呼び込むことで、現在住んでいる市民と、他地域から来る新たな市民と一緒に、より善い地域をつくっていく。

田舎へ還ろう戦略



各
地
区
基
本
構
想
に
よ
る

個
性
輝
く
地
域
づ
く
り

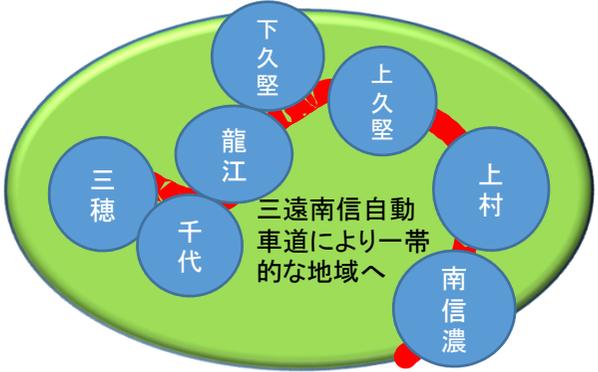
分野別計画 中山間地域の住民が抱える課題解決に向け、 分野別の総合的な取組と連携し取り組む

土地利用・住まい	飯田市土地利用基本方針 飯田市住生活基本計画
高齢者の交通不安・ 高齢者福祉	地域健康ケア計画 高齢者福祉計画 飯田市地域福祉計画
農林業の振興	飯田市農業振興ビジョン 飯田市森林整備計画
子育て環境	子育て応援プラン
教育の充実	飯田市教育振興基本計画
交流・観光	飯田市観光振興ビジョン
環境・自然エネルギー	飯田市環境モデル都市行動計画
災害	飯田市地域防災計画
空き家	飯田市空家等対策計画
遠山郷の振興	過疎地域自立促進計画
商店街の活性化・雇 用・産業振興	地域経済活性化プログラム
交通	南信州地域公共交通網形成計 画※広域連合

飯田市中心間地域振興計画

中山間地域の人口減少の影響を最小限に留め、持続可能な地域づくりに向け今後10年間で重点的に取り組むことに特化した計画

- ①「いいだ未来デザイン2028」における「田舎へ還ろう戦略」を推進
- ②地域住民が抱える課題解決に向けた分野別計画との連携
- ③各地区基本構想に基づき、地区ごとに重点的に取り組むテーマと連携・支援



飯田市中山間地域振興計画の全体イメージ

○基本理念

- (1) 中山間地域らしい、中山間地域だからできる暮らし方を実現する
- (2) 空間を守り、これからの地域づくりにつなげる
- (3) 潜在的な力を掘り起し、地域の強みを活かした交流を進める
- (4) 地域に関わる部分＝「関わりしろ」のある地域をめざす
- (5) 暮らしを支える基盤と生活環境の整備に取り組む
- (6) 地域と行政が協働して取り組む

○基本方針

- 人口減少の影響を最小限に留め、持続可能な地域づくりに向け、今後10年間重点的に取り組むことに特化した計画とする
- 1 現在住んでいる住民が愛着と誇りを持って住み続ける地域づくり
 - 2 中山間地域の営みを活かした起業（産業）展開から広がる地域づくり
 - 3 地域の魅力と資源を活かして交流を促進し、関係人口を増やす地域づくり
 - 4 地域外からの移住者を増やし、ともに未来を拓く地域づくり
 - 5 チャレンジから生まれる次世代につなぐ地域づくり

○対象地区 下久堅、上久堅、千代、龍江、三穂、上村、南信濃 ※周辺地域との連携を含む

○めざす10年後の姿 「住む人々が心豊かで暮らし、地域内外の人とのつながりを持てる地域」

○計画期間 H31(2019)～H40(2028) 10年間

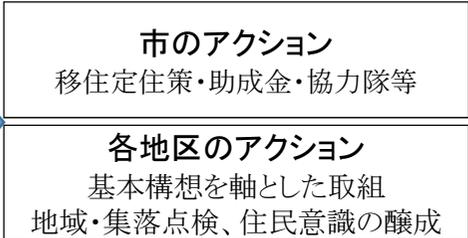


○前期の基本的方向（田舎へ還ろう戦略）

- ・地域の資源を活用した地域内外の「交流」を重ね、人と人とのつながりの中で生まれる関係人口を増やし、「移住・定住」につなげていく取組を進める。
- ・地域づくりに関わる多くの人が集い、思いを共有し、試行錯誤と実践を繰り返しながらより良い地域づくりをめざす。
- ・前期の取組を踏まえ、中期における軸となる取組を検討する。

○3つのアクション

- ①7地区のアクション: 各地区基本構想を軸として取組を推進
- ②7地区連携アクション: 中山間地域全体における移住・定住策の推進
- ③エリアアクション(遠山郷・竜東・天龍峡)
: 歴史的につなぐの強い地域をつなげる取組(交流)を推進



前期における各地区アクション

地区名	重点的に取り組むテーマ	どの様にして
下久堅	ひさかた和紙を活用した地域内外の交流をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・下久堅ふれあい交流館の活用 ・ひさかた和紙を軸にした交流プログラムの実践 ・交流を深めていく体制づくり
上久堅	人を呼び込む地域の土台をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家対策の体制構築を図る ・人を呼び込む観光の模索を図る ・地域内の情報発信の推進を図る
千代	地域の魅力発信の強化と移住定住の体制づくり、若者からお年寄りまで元気で住み続けられるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力発信(子育て環境等)。地区ホームページのほか、ターゲットを絞った媒体・手法の活用検討 ・空き家情報と移住相談窓口の一元化。市の集落支援員制度の活用 ・地区内未婚者の成婚に繋がる取組の継続 ・現在、住んでいる人が住み続けたい(転出を減らす)、一旦、地区外に出た人が帰ってくる(Uターンを増やす)風土づくり。まちづくり委員会のできることの検討、家庭への働きかけ、地域への愛着・誇りの醸成等
龍江	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の結婚の後押し等による、新たな住民(定住人口)の増加及び地区外転出の減少を図る ・関係人口・交流人口の増加を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家を含む住宅支援策の活用(地域内企業の従業員へ向けた紹介等) ・起業支援体制づくり ・婚活イベントの実施 ・「結び隊」による縁結び活動 ・世代を問わず、子どもも大人も国内外と交流を深めていく体制づくり
三穂	<ul style="list-style-type: none"> ・三穂地区最大の資源である美しい自然と農村風景を守る ・空き家の活用等居住環境の整備 ・三世代、四世代家族の継承 	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域直接支払制度等の利用による環境整備事業の継続 ・空き家調査と家主との交渉、土地利用計画についての検討 ・小中学校での地域による教育
上村	南アルプス(しらびそ高原、下栗の里)自然体験プログラムの構築と実践	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊を導入しての自然体験プログラムの構築・実践
南信濃	遠山郷へ人を呼び込み、交流・関係人口を拡大する	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲストハウスやシェアハウスの活動をまちづくり委員会及び地区内で共有、連携して遠山郷ファンを増やす ・地区内のイベント、交流事業への参画 ・「遠山郷花街道」整備事業への参画

前期(2019～2021)における具体的な事業イメージ

取組むテーマ	ポイント	ねらい	役割		3つのアクションの位置づけ
			地域	市	
今住んでいる人たちの暮らし・良さを高めていく	①人財育成	・地域の担い手となる人材発掘と地域内外の人のネットワーク化	・人材の掘り起しと育成 ・地域学習	まちづくり委員会との協働	7地区アクション
	②潜在的な力の掘り起し	・集落点検による地域の資源・暮らしの価値を高める。 ・外からの視点による地域の魅力再発見	集落点検からの地域再発見活動	地域おこし協力隊の導入	
関係人口(地域のファン)を増やす	①魅力・暮らしの情報発信	・暮らしの見つめなおし ・ターゲットの絞りこんだ情報発信、プロモーション	・集落点検 ・地域内外の連携	関係部局、南信州観光公社との連携	7地区アクション 7地区連携アクション エリアアクション
	②交流から関係へつなぐため、中長期の滞在プログラムの検討	中長期プログラムの研究・実践	ランナーズヴィレッジ トレッキング サイクリング	関係部局、南信州観光公社との連携	
	③外部視点による中の気づきの誘発	外の視点による魅力の掘り起し	地域の魅力の発見 メニュー化	関係部局、外部視点とのつながり	
	④中山間地域の資源のネットワーク化	プロジェクト体制によるエリアアクションの推進	・地域の魅力の発見 ・行政と協働したプロジェクト体制の構築	地域と協働したプロジェクト体制の構築	
移住・定住を増やす	①集落の点検や関わりしらの検討・実践	・移住者のライフスタイルと地域で実践できることのマッチング	集落点検	移住者へのアプローチ、情報収集等	7地区アクション 7地区連携アクション
	②若者定住	同居・近居誘導策により地縁者	対象者の掘り起し 事業への関与	同居・近居誘導策の構築	
	③空き家対策	空き家情報の収集と、利活用に向けたマッチング	・空き家情報の収集 ・所有者への声掛け	空き家対策支援策の拡充	
中山間地域だからできる産業おこし	①起業家育成	地域資源を活用した起業家の育成	・対象者の掘り起し ・事業者への応援・協力	・起業家育成プロジェクト事業化 ・事業後のフォロー	7地区アクション 7地区連携アクション エリアアクション
	②中山間地域らしい働き方・暮らし方おこし	・一つの仕事だけではなく、複数の仕事の組み合わせ ・“従来の暮らし”を価値にした新たな産業づくり	集落点検	産業経済部との連携による支援	
	③中山間地域の資源を掛け合わせた産業づくり	・農産品を活用したふるさと便等 ・地域の伝統文化を活用した産業おこし ・農村起業	・活用資源の検討 ・体制づくり	・産業経済部との連携による支援 ・起業家育成プロジェクト	